

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	特進L	国語	現代文	理系	必修	2

講座のねらい

評論・随筆：論理的な文章の読解を通して、語彙力を養い、論理の展開を把握し、論旨を理解します。内容を身近な問題として捉え、その内容について、自己の考えを持つようにします。

小説：文学的文章の読解を通して、登場人物の状況や展開する情景を読み取り、人物像とその心情を把握します。作者や作品の文学史上の意味を知ります。

使用教材及び問題集

教科書と教材：『高等学校 現代文B』（第一学習社）
『新版二訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）
ワーク・プリント類

授業の内容と進め方

予習として、単元の文章を読み、難語句の意味を調べます。

授業は単元の文章を精読し、その内容を把握できるようにします。単元終了後にセンター試験問題や演習問題を行い、大学入試に備えます。

講座の到達目標

センター試験や国公立大学二次試験に対応できる読解力を身につけるようにします。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、小テスト、課題やノートの提出状況、授業態度や発言内容などを加味し、総合的に評価します。

提出物については、期限を厳守することを求めます。

備考

難関国公立大学・センター試験・私立大学など各大学入試を念頭に置いた講習を、平日の放課後に実施します。限られた時間を有効かつ適切に利用し、より高い目標到達を目指します。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容〉

- ・ 評論（一）「未来世代への責任」：段落ごとの内容を正確に理解し、筆者の主張の客観性、正当性を、その根拠に基づいて判断していきます。
- ・ 小説（一）「タオル」：漢字や語句の意味をつかみます。内容的には、「タオル」が本文中でどのような働きをし、何を象徴することになるのか、留意しながら詠みます。そして、主人公の感慨を「生と死の体験的意味」から、感じ取ります。
- ・ 評論（二）「いのちのかたち」：観察や研究の対象になったりする「生命」に対し、「いのち」は「からだ」同様、もっと「わたし」に身近で、親しいものと感じられます。それがなぜなのかを、「人間は一人では完結せず、その誕生と死において他者との関係に象られている。」という本文中の言葉を手掛かりに、考えていきたいと思っています。

※大学入試問題演習等・長文読解の演習問題等

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書の内容〉

- ・ 評論（三）「目に見える制度と見えない制度」：抽象的な語句や概念的な表現の意味を理解します。形式段落の内容を理解し、意味段落の大きなまとまりを把握します。「制度」について具体的なものとして捉え、本文の内容を理解します。
- ・ 小説（二）「舞姫」：森鷗外やその作品について知ります。本文を通読し、内容を概観します。意味段落ごとに丁寧に読み、古文の知識を用いてその内容を理解します。（「所動的・器械的人間」がどのように変化したか、や「一点の彼を憎む心」とは何かなどを読み取ります。）

※大学入試問題演習等

3 学期 学習計画および学習内容

入試対策特別講座